

第1回定例会 一般質問

8名の議員が市政を問う！



秋山 政明 議員

障がいを抱える子どもとその家族が安心して暮らせるまちづくり

問 障がいがある子どもとその家族はさまざまなサポートを必要としている。24時間365日付き添わなくてはならない医療的ケアが必要な子、発達障がいがあり子育ての難しさに日々直面する保護者、受け入れてくれる幼稚園・保育園が見つからないケースなど、日常的に支援が必要である。その支援体制について問う。①障がいがある子ども

の早期療育の推進について②幼稚園・保育園に対する支援について③小・中学校が抱える課題と対策について④家族を支える支援について⑤児童発達支援センター「ぐるんぱ」の今後の方向性について。

答（健康福祉部長） ①早期療育の推進として、児童発達支援講演の開催、3歳になるまでに計4回の乳幼児健診を行っている。また、保護者の発達に関する不安等の相談に保健師や保育士がきめ細やかに対応している。④障がい児の家族が病気などの理由により介護が難しいときに、施設にて一時的に預かる、短期入所を行っている。⑤保育者のニーズに合わせた専門性や量的

拡大にも努め、よりよい療育体制の構築を図っていきたい。

答（市長公室長） ②障がい児を保育している保育園に対し、市が補助金を支出している。また幼稚園等については、県からの助成がある。

答（教育部長） ③特別支援学級は116学級あり、教育活動全般について指導、支援を行っている。児童生徒への指導や支援方法に悩む担当教員に対し、巡回教育相談等を実施し、自信を持って対応できるようにしている。



阿久津 佳子 議員

古河市のバリアフリーについて

問 市内施設の汎用・障害者等用駐車場の利用状況、特に汎用駐車場利用者が多く見込まれる施設の駐車場確保は十分か。不十分であれば拡充のための対策について伺う。また、汎用駐車場の不適正利用についての取り組みはいかがか。

答（財政部長） 汎用・障害者等用駐車場の利用状況について、

設置区画数が不足する場合もあると思われる。古河市ファシリティマネジメント基本方針において、時代に即した公共施設機能確保のため、ユニバーサルデザイン対応など質の高い公共施設サービスを提供していく。

答（健康福祉部長） 汎用駐車場の不適正利用について、国の進める駐車スペースを色分けして設けるダブルスペース導入などを参考に検討したい。



市民サービスについて

問 市からの郵便物は、市民、特

に高齢者宛て文書として分かりやすい内容か、文字サイズは適したものであるか。また、返信を要する調査票等の回収率と、配布方法、回収方法の改善を考えているか伺う。

答（総務部長兼危機管理監） 郵送する文書について、市の公文書作成マニュアル徹底を図り、相手が理解しやすい文書作成を周知していく。文書がわかりづらいときの問い合わせ先の明記、問い合わせ時の対応についても注意を促す。文書の返信方法について、どのような回収方法が可能か検討したい。

その他の質問事項

・少子化対策について